

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第71号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
Email:iguren@kanagawa-iguren.com
http://www.kanagawa-iguren.com

<名経営者の言葉>

“不平はエネルギーだ。人間は不平が無ければ、働く意欲を失ってしまう” 藤田観光創業者・小川栄一氏
働きもせず、努力もせず、不平不満ばかり！！とならぬよう自戒を込めてお送りしました。

中小企業活性化条例について県に要望する

芝 忠

7月25日、県庁産業活性化課長坂井雅幸氏に要望書を提出し懇談しました。異グ連側は南出議長・雑賀副議長に菊地事務局参事(条例化・HP担当)、芝の4人。県側は課長の他高橋主幹・森副主幹の3人。

要望書の骨子は「最近の県等の調査で中小企業を取り巻く景気が非常に厳しいこと」その中で期待される「活性化条例」は「中小企業者・従業員・地域住民・行政・研究者・大企業者等」が一体となって実行する必要性があることを指摘し、県の役割分担だけでなく、市町村との連携を強化するように求めています。

具体的には、市町村に「地域中小企業振興計画」の策定や「地域中小企業振興会議」の設置等を提案しています。また商工業・建設業・農林水産業の総合的支援、企業側だけでなく行政側の人材育成も重要としています。県産業技術センターや技能訓練の充実にも言及しています。南出議長からは中小企業の景気が大変厳しい事を述べ、県の取り組みの充実強化を強く要望しました。

県からは予定される活性化条例の「前文」を書けない(法令審査係から制限された)中で、どのように神奈川県の特徴を示すのが難しいと発言がありました。条例案の骨子が公表された中で関係団体としては、いち早く県に対する要望を提出しました。今後各団体が行うものと思われま。早ければ9月の県議会に上程される見込みです。

条例の「素案」は、基本理念で「中小企業については、多様な事業分野において特色ある事業活動を行い、地域の活性化及び雇用の確保に貢献し、並びに県経済を支える重要な存在であること」と評価し、中小企業者の自主的な取組や各分野との連携・協働、小規模事業者の配慮などを謳っています。さらに県・大企業者・大学・県民の責務を指摘し、市町村の施策にも言及しています。そして「中小企業の振興計画」の策定、実施状況の公表、県の財政措置、調査研究、推進体制などを定めています。

しかし先行する千葉県の条例と比較すると、「地域づくり」や「地域の活性化」の視点が薄く、むしろ「高度な産業集積、高い人的・技術的潜在力等」を活用し「活力と魅力のある産業の実現」と従来の産業政策推進の立場が鮮明です。さらに「経済的社会的環境への適応」「環境との調和」など既存の中小企業者の支援より適応できない部分の切り捨てが、かいま見れるような文言が気になります。

産学官交流サロンのコーナー

おなじみ尾上町サロン

日時：第一・三金曜日(09月05日、19日) 17:15～ 8月15日(金)は盆休みです。

会場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所

会費：1000円(現物も大歓迎)

連絡問合せ：神奈川異グ連事務局 芝、島津龍男、八幡、鈴木 045-633-5142

第28回三浦半島経済人サロンの開催案内

日時：2008年9月24日(水) 18:00～20:30

場所：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室

話題：三浦半島の魅力を探る

埼玉から眺めた三浦半島の良さと活用アイデア

NPO 帰宅支援ネットワーク理事長 斎藤晃顕氏

参加費：1000円(ビール、おつまみ付)

事務局：八幡 045-633-5142、鶴野 045-836-6785

第28回新産学公交流サロン・よこはま開催案内

日時：2008年9月17日(水) 18:00～20:30

場所：神奈川産業振興センター5F交流サロン

話題：アクアトラップのよる雨水の利用

自然に優しい環境への貢献がエコビジネスを生み出す

(有)明治花プロ代表取締役 川崎 弘氏

参加費：1000円(ビール、おつまみ付)

申込：織方、岡田、杉本、芝 tel 045-633-5142

第24回かわさき経済人ネットワークサロン開催案内

日時：2008年9月26日(金) 18:00~20:30
 場所：(財)川崎市産業振興財団10F第3会議室
 話題：**モノづくりは人づくり**
 (株)フジクロム社 社長 藤田茂雄氏
 参加費：1000円(ビール、おつまみ付き)
 申込：松井、渡部、芝 tel 045-633-5142

第16回西湘サロンの開催案内

日時：2008年9月8日(月) 18:00~20:30
 場所：あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F
 話題：**ピクセラの闇研から企業へ、そして企業連携の摸索** (有)ピクセラ工房 青野俊明氏
 参加費：1000円(ビール、おつまみ付)
 申込：島津俊、吉池、芝 tel 045-633-5142

第15回(7月14日)西湘サロンの報告

吉池正樹 BC

今回の話題提供はコミュニティ倶楽部会長小西正宏氏と事務局江田春男氏で次のようなものでした。当倶楽部は3年前小田原中心市街地の中小商店など103店舗が集まり、JTBの「**ナイスショップ**」券を活用した地域振興活動をスタートさせました。そしてJTBとJCBのギフト券部門の統合によりさらに拡大し、西相模地区でも展開の運びとなりました。日用品から飲食などあらゆる商品・サービスに利用でき、使用者には割引などの特典があるもので、地元でのギフト券利用を促進し、地域店舗の売上増を図ろうとするものです。

第27回(7月16日)新産学公交流サロン・よこはまの報告

織方盛男 BC

工場や船舶の大型電動機コイル巻き替えなどの修理や整備再生を業とする「協立電機工業(株)」の岩橋祥江社長が話題提供者となり「**我社の経営戦略と異業種交流シリーズ第2弾**」を開催した。要旨を報告したい。

当社は大型電動機の修理・再生に、短納期をモットーにし、多くのリピーターを持つニッチ産業であるが、油にまみれる3K業種である。当社は昭和60年創業社長が急逝し、急遽当時経理担当であった現社長が経営を引き受けることとなった。突然の経営者交代で経営課題が山積し、難しい局面であったが、神奈川異グ連の芝事務局長の支援や、異業種交流会(KIK、中小企業家同友会など)のネットワークで、乗り切ることが出来たとのことである。しかし当然ながら岩橋祥江氏の経営者としての高い資質も有ったことと思われまふ。なお蛇足ですが、少子化に対応した技術伝承問題や作業効率改善(標準化、一部自動化など)が急務であろうと感じた次第です。

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**まんてんプロジェクト**

千田 JASPA 取締役

- 東洋経済の取材があった。同誌は近く航空機事業記事を企画しており、まんてんプロジェクトに真っ先に取材したとのこと。今月行なわれた東京都のセミナー、早稲田大学のセミナーも取材した。
- 7月11日に東京都主催の航空機関連産業セミナーが都民ホールにて開催され、中小企業の参入成功事例が報告された。入場者400名
- 7月25日、まんてんプロジェクト、東京都、JAXAが幹事委員になって早稲田大学産学連携部が主管する航空機部品国産化フォーラムの中間報告会が早稲田大学にて開催された。IHI,MHI,KHI,FHIの4大重工から研究開発の取り組みと動向などが発表された。参加者200人
- 7月14日から20日にかけて英国ファンボロウにて開催された国際航空ショーにまんてんプロジェクトがミッションを出し現地にて展示、商談会を実施した。JAXAからはJAXAの支援により日本の中小企業がファンボロウに参加展示することが事前に報道発表された。ミッション参加者は11名、7企業。技術展示はJAXAブース内にて10社がポスター、及び精密機械加工品や材料、部品サンプルなど10点余を展示した。また来場者などにまんてんプロジェクトの紹介、展示参加企業の概要紹介を纏めた13ページの英文カラー冊子を配布した。この機会にまんてんプロジェクトのホームページを英文化した。今後はまんてんプロジェクトの情報発信は英語が主、日本語が従となる。来日を約束した欧州大企業も得られるなど期待以上の効果があった。先行している欧米市場とのビジネスが重要であることを改めて確認できた。今回のミッションは、支援してくれたJAXA、および航空宇宙工業会の力が大きい。今回の成果は、**10月の横浜パシフィコでの航空宇宙展2008**に継げることが確実となった。
- 7月28日、経産省の助成による**EDIネットワーク構築プロジェクトコンソーシアム**が正式発足した。JASPAはコンソーシアムの監事に任命された。

第87回(7月23日)日韓ビジネス協議会報告

高橋導徳BC

- 日本企業紹介・・・昭和精工(株) 副社長 木田成人氏
世界に認められる企業を使命として「あくなき精度への追求」を目指している。特に下記の内容について説明された。缶のプルトップ金型、フライアイレンズの成型用ツール製造、電気2重層キャパシター燃料電池などの電極箔の成型、医療用器具成形機などについて説明された。
- 韓国中小企業振興公団・日本事務所について・・・事務局
新大統領の就任に伴い、今年の6月組織が変更された。韓国中小企業振興公団・日本事務所は閉鎖され、韓国の国内での名称は中小企業振興公団となり、韓国の名称が削除された。現在、日本事務所は各種の整理をしているが今後については未定である。
- 神奈川県異業種グループ連絡会議の今年度の活動方針・・・専務理事 芝 忠氏
2008年度版の事業連携図に基づき、地域産学連携の交流サロン、各種活動支援事業、航空・宇宙産業振興のまんでんプロジェクト、韓国交流およびJICA研修事業などについて説明された。
- メイン講師：「日本はアジアか?」「韓国は?」・・・日・シンガポール協会理事 井上誠一氏
インド、イタリア、米国、シンガポールなど約16年間の海外駐在をされ、専門は溶接技術である。東南アジアの溶接技術の発展のためにいろいろ貢献をしている。日本とアジア、日韓若手溶接屋のシンポジウム、韓国駐在者の話し、神奈川＝韓国・京畿道との交流についてなど広範囲に亘り、豊富な海外経験をベースに分りやすく説明された。

第88回日韓ビジネス協議会の定例会(工場見学)のご案内

日 時：8月21日(木曜日)14:30 JR新杉田駅改札前へ集合(時間厳守) 会費：1000円

工場見学会社：昭和精工株式会社 横浜市金沢区福浦1-4-2

TEL：045-785-1111 <http://www.showa-seiko.co.jp>

工場見学後は新杉田駅の近くの「ワタミ京急杉田店」で暑気払会を開催致します。(会費3000円程度)

申込先：TEL&FAX：045-311-0094 高橋迄 MAIL：mtakahas@tb3.so-net.ne.jp**シフト21**

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。(原則第二火曜日開催)

8月定例会は8月5日(火)に庭園設計・ランドスケープデザインを手がける磯 勇人氏に「**経営者の教養としての庭園の観かた・楽しみ方**」と題して、国内外のランドスケープ事例や、ゆっくりとした時間を作るための庭づくりの工夫、ゆとりの時間の楽しみ方をお伺いいたしました。

9月定例会は「**横浜・野毛町の変遷と街づくり会の実践**」というテーマで、長年野毛で飲食店を営みながら、街づくりにかかわっていらっしゃる村田屋店主・藤澤智晴氏にお話をお伺いいたします。(9月9日(火)18:30～ 場所：村田屋 会費3,500円)

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(arimura-c@nifty.com)

関連イベント等のお知らせ

INF第9回全国異業種グループネットワークフォーラム in 甲斐の国

日 時：H20年10月24日(金) am10:00～18:10 懇親会18:20～21:00

会 場：“甲府富士屋ホテル” 甲府市湯村3-2-30 電 話：055-253-8111

第一部：10:00～13:00 ビジネスマッチング(出展企業50社募集、出展料3万円)

第二部：14:00～18:10 INF全国大会&分科会

基調講演(立教大学大学院名誉教授・内山節氏)のあと、5つの分科会で意見交換。

第一分科会：農商工連携で新たな価値創造 第二分科会：伝統産業をデザインする

第三分科会：山梨発環境ビジネス 第四分科会：創造していく観光ビジネス

第五分科会：ITCを活かした企業の価値創造

第三部：18:20～21:00 分科会報告と懇親会 参加費：8,000.-

問合せ、申込は“NPO法人INF事務局”担当の古思(コシ)まで(090-9320-1793)or
(株)オーパシステムエンジニアリング内INF事務局

tel 044-853-2922 fax 03-5457-2503 mail infinf@wm.pdx.ne.jp

補助金 内藤泰春科学技術振興財団の助成金の募集のご案内

毎年公募している表記財団の助成金募集が始まりました。調査研究開発で200万円まで、国際交流で50万円までを限度として100%助成金が支給されます。返済義務はありません。

締め切りは2008年11月1日です。

問い合わせ及び推薦希望者はまんでんプロジェクト JASPA 株式会社千田まで。y-senda@jaspa.co.jp

応募書類は下記HPからダウンロードできます。

<http://www.naito-zaidan.or.jp>

ベトナム進出のキーポイント

ベトナムビジネスの最新情報セミナー

日時：H20年8月26日（火）

14:30 受付 15:00～17:30

場所：川崎商工会議所5F講堂

内容：ベトナム進出のキーポイント

(株)会川アジアビジネス研究会・会川精司氏

参加費：無料（懇親会は3000円）

問合せ申込：川崎商工会議所地域産業部

国際課 044-211-4113

連載 革新的原価低減の薦め方 かながわ研究交流推進協議会の福田祐二氏（M I C総合事務所 代表）提供

第1章基本的な考え方

1、改善と改革 略

2、原価の話し

(1)原価と利益

図1-2は、売価と利益の関係を示したものです。一般に利益は〔利益=売価-原価〕の式で算出されます。この算式で利益を生み出す方法は、売価を上げる方法と原価を下げることが考えられます。

しかし、製造業の売価は他社の設定売価との兼ね合いや顧客との関係などで決定づけられるといっても過言ではありません。このような市場環境で利益を得る場合は、原価低減を行う以外には選択の余地はありません。

経営成果としてのコストは、重要な要素です。材料費、人件費、経費、光熱費などの高騰や更には、顧客からの売価低減要求などの事業環境の変化に継続的に対応していくためにも、日頃から改善力を醸成しておく必要があります。

つづく

$$\text{利益} = \text{売価} - \text{原価}$$

利益の創出には、

- ① 売価をあげる
- ② 原価を下げる

$$\text{売価} = \text{原価} + \text{利益}$$

売価は市場価格で決まります。メーカーが勝手に売価を決められません。利益の創出には原価低減しかありません。

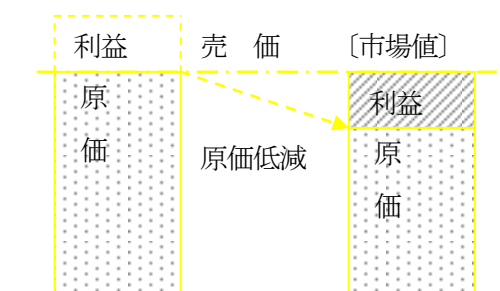


図1-2 原価と利益

事務局のコーナー **残暑お見舞い申し上げます。**

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】 魚崎 誠也 村上 嘉男 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 芝 忠 杉本 明子

【木】 八幡 敬和 松井 利夫 【金】 島津龍男 芝 忠 織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階

8月11日～15日は夏休み！！

神奈川県異業種グループ連絡会議事務局 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194

URL：<http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail：iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。（会報編集担当）mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ！